

外部委託業者の募集

References: IO/23/PIN/OT/70000994/YMA

“Online Platform to Access Codes and Standards”

(規格と基準にアクセスするためのオンラインプラットフォーム)

IO 締め切り 2023 年 9 月 8 日(金)

○はじめに

本事前情報通知 (PIN) は、作業契約の入札授与および実行につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。

本文書の目的は作業範囲と入札プロセスに関する技術的な内容の基本的な要約を提供することです。国内機関は本情報を入札に先立って、以下のサービスを提供できる企業、研究機関その他の法人に入札プロセスの詳細について周知をお願いします。

○背景

ITER は平和利用の核融合発電の科学的小および技術的な実現可能性の実証を目的とした、国際共同研究開発プロジェクトです。ITER 機構の 7 つのメンバーは、;欧州連合 (EURATOM が代表)、日本、中華人民共和国、インド、大韓民国、ロシア連邦、および米国です。

ITER の敷地は南フランスにあり、ITER 本社 (HQ) もあるフランス CEA サン・ポール・レ・デュランス に近いところに位置しています。詳細については、ITER のウェブサイト <http://www.iter.org> を参照して下さい。

○作業範囲

このフレームワーク契約の目的は、ASTM、EN、IEC、ISO、NF を含みますがこれらに限定されない選択された出版物の基準にアクセスし、読み取り、ダウンロードし、印刷するためのオンラインプラットフォームへのアクセスを IO に提供することです。

詳細は技術仕様書 ITER_D_92 VWFY v 1.8 (この PIN に添付) を参照下さい。

○調達プロセスと目的

目的は、競争入札プロセスを通じて供給契約を落札することです。

この入札のために選択された調達手続きは公開入札手続きと呼ばれます。

オープン入札手順は、次の 4 つの主要なステップで構成されています。

▶ ステップ 1-事前情報通知 (PIN)

事前情報通知は公開入札プロセスの第一段階です。IO は、関心のある候補企業に対し、以下の概略日程に示された期日までに担当調達担当官に添付の関心表明フォームの情報を提出し、競争プロセスへの関心を示すよう正式に要請します。

特に注意:

関心のある候補企業は、IO Ariba の電子調達ツール「IPROC」に登録してください (ま

だ登録していない場合)。手順については、<https://www.iter.org/fr/proc/overview> を参照してください。

Ariba (IPROC) に登録する際には、お取引先様に最低 1 名の担当者の登録をお願いしま
す。この連絡担当者は、提案依頼書の発行通知を受け取り、必要と思われる場合は入札書類
を同僚に転送することができます。

➤ ステップ 2-入札への招待

関心のある候補企業の完全登録後、提案依頼書 (RFP) を「IPROC」に掲載します。この段階では、担当の調達担当者に関心を示し、かつ IPROC に登録している関心のある候補企業は、RFP が公表された旨の通知を受けることができます。その後、RFP に詳述されている入札説明書に従って提案書を作成し、提出します。

このツールに登録されている企業のみが入札に招待されます。

➤ ステップ 3-入札評価プロセス

入札者の提案は、IO の公平な評価委員会によって評価されます。入札者は、技術的範囲に沿って、かつ、RFP に記載された特定の基準に従って作業を実施するために、技術的遵守を証明する詳細を提供しなければなりません。

➤ ステップ 4-落札

認定は、公開されている RFP に記載されている、コストに見合った最適な価格または技術的に準拠した最低価格に基づいて行われます。

○概略日程

概略日程は以下の通りです：

マイルストーン	暫定日程
事前指示書 (PIN) の発行	2023 年 8 月 21 日の週
関心表明フォームの提出	2023 年 9 月 8 日
IPROC での提案リクエスト (RFP) の発行	2023 年 9 月 18 日の週
明確化のための質問 (もしあれば)	2023 年 10 月 19 日
明確化のための質問回答	2023 年 10 月 24 日
入札提出	2023 年 11 月 3 日
入札評価と契約授与	2023 年 12 月
契約調印	2024 年 1 月
契約開始	2024 年 7 月 1 日

○契約期間と実行

IOより契約は2024年の1月ごろに授与されます。予想される契約期間は、オプション期間の1年と固定期間4年を予定しています。

ITERでの使用言語は英語で、流暢でプロレベルが必要です（口頭、書面とも）。

○必要経験

候補企業は、大規模で複雑な組織向けに、できれば国際的な環境で、複雑な契約や組織の設定（ITERプロジェクトに相当）の実施能力を実証していることが求められます。

契約者は、業界仕様および世界的な権威ある基準（5年から10年の商業運転）の世界的な収集と提供において確立された広範な経験を持っていることが望まれます。契約者がこの経験を持っていない場合は、システムの能力とそのコレクションへのアクセス方法についてライブデモンストレーションをITER機構に示す必要があります。

契約者は、最適なユーザーエクスペリエンスとナビゲーションが容易にできるように構築されたプラットフォームを通じて、基準収集へのアクセスを保証します。契約者はまた、基準の検索が容易に可能でインテリジェントな検索ツールとインターフェイスを備えて効果的であることを示す必要があります。最後に、契約者は、ITERのニーズと使用状況の全体像を提供する堅牢なレポート機能を保証し、管理者がサブスクリプションに保持すべき基準を適切に決定し、結果としてコストを管理できるようにします。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階でのカバーレター(入札への招待)で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更もITER機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期にIOに提出しなければなりません。

せん。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Online Platform to Access Codes and Standards**」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からもアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集（IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集）を逐次更新しています。ぜひご確認ください。